



授業が変わります

校長 若林 茂

今年も正門の近くのブロック塀沿いに、アガパンサスの花が咲きました。南アフリカ原産のヒガンバナ科で、花火のような涼やか紫色の美しい花を咲かせます。ギリシャ語の愛を意味するアガペーと花を意味するアントスが語源で愛の花という意味です。「優しくて思いやりがある芝樋ノ爪小学校の花です」と児童や職員には言っています。

さて、私は毎日教室を回り授業の様子を見ていますが、6月から7月にかけては、全学級の授業を初めから終わりまで1時間ずつ参観しています。わかりやすく魅力ある授業をするために、先生たちは様々な工夫をし、児童は意欲的に学習に取り組んでいます。そんな中、昨年度と大きく変わったことがあります。それは「タブレット端末」を活用しているということです。「GIGA スクール構想」によって、本校は、今年の2月に校内のWIFI環境が整備され児童一人一人にタブレットが川口市より貸与されました。先生や児童が少しでも早く操作に慣れるために、2～3月には、本年度の本格的実施に備えて、ICTの得意な先生を中心にタブレットでどんなことができるのか職員研修を行い、授業でタブレットを使ったり、朝会・児童集会・終業式・卒業式（控室）などを会議用ソフトを活用してリモートで行ったりしてきました。そして、本年度に入ってから、校内研修のテーマを「主体的・対話的で深い学びのためのICTの活用」として、学力向上の取組の一つとしてタブレットの効果的な活用について重点を置いて取り組んでいます。まだまだ始まったばかりですが、いくつか活用例を紹介します。

- 体育でマット運動を児童が動画を撮影し、自分の動きを確認する。
- 理科や生活科で植物の写真を撮り、画面に気づいたことなどを書き込み観察記録を残す。
- 一人一人がタブレット上の課題を解決した後、会議用ソフトで課題を提出し学級で交流する。
- 学級会で会議用ソフトを使って、複数の画像を見たり、意見交換をしたりする。
- 会議用ソフトで一つの課題をグループで共同作業により解決する。
- 全学年が、漢字ドリル・計算ドリルのソフトをタブレットにインストールし活用している。
- 教科書のQRコードを読み取り、説明動画を見たり、練習問題を解いたりする。
- 低学年は授業中に課題が早く終わった時などに、お絵かきソフトなどを使って操作に慣れさせている。

1年生が会議用ソフトで授業の自己評価をスタンプを使って提出したり、2年生が観察記録を提出して児童がお互いに見合ったり、児童が発表した感想を先生がその場で文字に打って表示したりするのを見て、授業が変わるんだという驚きと、上手く活用すれば先生の時短にもつながるかもしれないなど様々なことを考えさせられています。まだ先生や子供たちが操作に慣れていなかったり、機器等の不具合などがあつたりして時間がかかることもありますが、1年後にはスムーズに操作できるようになり授業の中で効果的に活用できるようになることを目指しています。AI機能なども加わり子供たちの習熟度に合わせて個別の学習プログラムで学習するようになる日もそう遠くはないのではないのでしょうか。学習の仕方や先生の役割や必要な技能なども変わってくることでしょう。子供たちからは、「今日はタブレットを使いますか」という声が聞かれ、タブレットを使う学習をとっても楽しみにしているようです。1学期も残すところ3週間となりました。1学期のまとめを行いながら夏休みに向けての準備を進めてまいります。